

青 藍

令和5年度 第3号 2023年12月25日発行

北海道札幌あいの里高等支援学校

〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1-1

(電話) 011-770-5511

「なりたい自分」を忘れない～3学年の現場実習を終えて～

9月11日から10日6日まで、3学年の現場実習が行われました。3学年の現場実習は、あいの里高等支援学校卒業後、働きたい場所、学びたい場所、「なりたい自分」になれる場所で実習を行い、卒業後の進路を判断いただく前提実習です。

1学年で1回、2学年で2回の体験実習を経て、3学年の前提実習先を決める流れである中、経験したという安心や自信からか、1学年や2学年で実習した場所を卒業後の進路先と選択する生徒が多くいました。今年度の3年生も、福祉事業所を希望する23名中20名は、これまで経験した実習先を卒業後の進路先として希望した一方で、企業を希望する23名中14名が、これまで経験のない実習先を選択しました。

経験済みの作業内容でも、職場によって雰囲気は大きく異なります。経験したことのない作業であれば、作業と職場環境に同時に慣れていかなければなりません。いずれにしても、実習4週間という限られた期間の中で、自分の良さを出し切ることができるのだろうか、不安で一杯の前提実習となりました。

結果、希望はしたものの、もっと自分に適した進路先を探したいという生徒はいますが、ほとんどの生徒が、「自分がやりたい仕事」という視点で最終決定した前提実習先で4週間取り組み、実習後の進路面談では「卒業後働きたい場所」と伝えてくれました。卒業後、実習では経験したことのない様々な壁にぶち当たることもあるかもしれませんが、そんな時、進路を決めた今この時の自分を思い出し、「なりたい自分になる」という強い気持ちで乗り越えていってほしいと願っています。

(文責: 齊下和美)

3 学年



実習では、どの場面でも「挨拶」が良いと褒めていただきました。「挨拶」は、普段から意識していたことなので、とても嬉しかったです。また、「確認と報告」は、仕事を確実に、そして、効率よく進めるために必要なことだと改めて感じました。

これからも更に落ち着いてテキパキと行動できる自分を目指していきたいです。

(3年2組 環境・流通サポート科 水谷健吾)



私は、自動車に興味があり、1、2年生の時に洗車等の実習で仕事の効率やお客様の立場で考えることを学びました。そして、今年、コープの実習で多くの仕事を任せられ、それをやり遂げることで自信を持つことができました。

今後も丁寧な仕事を心掛け、自分の出来る仕事を増やしていきたいと思っています。

(3年6組 普通科 窪田慧)

1 学年

ネットトヨタ札幌白石店はとても職場の雰囲気が良く、働きやすかったです。社員さんの対応がてきぱきとしていて仕事がスムーズに進んでいました。

作業をしているときは周囲に気を遣うので集中力は欠かせないと思いました。



(1年8組 普通科 川原 空 羅)



NPO法人ライズで実習しました。1日6時間以上長い時間の仕事で大変でしたがペットボトルやスプレー缶の分別作業、パソコンの解体作業を最後まで頑張ることができました。特にスプレー缶の作業がスムーズでした。

(1年1組 生産技術科 覺間 慎之介)

「未来の自分」を創るのは「今の自分」～1学年実習を振り返って～

10月16日(月)から10月20日(金)の期間、企業や事業所に御協力のもと、入学後初めてとなる現場実習/長期インターンシップを行いました。

自宅から一人で実習先に通い、慣れない環境で過ごした5日間、生徒からは「大変だった」「毎日緊張した」「勉強になった」などの感想があり、仕事とは何か、身をもって感じる機会になったのではないのでしょうか。

実習後の振り返りでは、「挨拶・返事・相談ができなかった」「集中力・体力が足りなかった」という反省が多くあげられており、その中で達成したい次の目標として「自分から～」というキーワードが出てきました。

校外での実習は、学校や家庭で取り組んできたことや、身に付けてきた力を実際に発揮できるかを試す貴重な機会となります。なりたい自分をイメージしながら主体性をもって課題に向き合うこと、自分の良いところは更に磨きをかけることを目標に、次の実習に向けて、これからも色々なことに臆せず、チャレンジしていってくれることを期待しています。

(文責: 網 美 由 希)

2 学年



私はマックスバリュエクスプレス新道店に実習に行きました。今回の実習では、清潔な身だしなみや積極的にコミュニケーションを取ることを目標に取り組みました。実習では、状況に合わせて臨機応変に行動すること、積極的に挨拶や接客をすることの大切さを学ばせていただきました。今後の学校生活でも周りを見ることを意識したいと思います。(2年3組 被服デザイン科 秦 瀬 那)



私はA型事業所「ふきのとう」に実習に行きました。今回は周りをよく見て自分で状況を確認する事と、分からない事があったら先に職員さんに質問する事を目標に取り組みました。今回の実習では、両手を使って作業をする事を学びました。周りをよく見て、自分で状況を確認する事については今後の課題だと思っておりますので、意識して取り組んでいきたいです。

(2年4組 食品デザイン科 大島 かいり)

「なりたい自分をイメージできる自己選択・自己決定をめざして」

2年生は、6月に前期実習、10月に後期実習をそれぞれ2週間の期間で実施しました。2回の実習を終え、生徒たちは自身の将来についてさまざまな思いを抱いているようです。

学校は、生徒が実習に臨むにあたり、目標を立てて実習を行い、実習後にしっかり振り返ることを大切にしています。振り返りを通して、自分は今後何をすべきなのか、今からできることは何なのかに気づき、生活の中で課題を意識することでより高みを目指してほしいと考えています。2月には3年生の前提実習先いわゆる卒業後の進路先を決める大事な懇談があります。将来「どんな自分になりたいか」「どんな所で働きたいか」をイメージし、自分で実習先を決める=自己選択・自己決定をしてほしいと思います。

生徒にとってより良い進路決定、進路実現に向かうよう、御家庭とも共通理解を図りながら進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(文責: 西 木 晶 子)

学校祭

「仲間と一緒に!」

9月から、『現場実習/長期インターンシップ』『あいcircle』と続いた1学年のイベントの集大成『学校祭』は、疲れがピークの中、よく乗り切りました。「恥ずかしくている方が恥ずかしいよ!」「いつでも教えるから言ってね!」と声を掛け合う姿、積極的に道具を運ぶ姿、仲間を盛り上げる姿、きらきら輝いていて、羨ましくなるほどでした。

決して全員が、行事が得意なわけではありません。それでも、同じ目標に向かって、同じ時間を過ごし、お互い尊重し合ったかけがえのない“仲間”。立派でした!



(文責: 板橋敦子)

「見学旅行知らんけど」、学年テーマ「未完成」

2年生として迎えた2回目の学校祭。昨年度の充実感、達成感、一体感が心にしっかりと刻みこまれていた生徒が多く、見通しを持ち、わくわくした気持ちで学校祭の学習に向かいました。活動は、ステージ発表、学科活動・販売、実行委員の活動、生徒会企画と様々な活動があります。それぞれの場面で自分たちの役割を果たそうと精一杯活動していました。

学年ステージ発表は、創作劇「見学旅行知らんけど」。劇では、3年生で予定している見学旅行をテーマに、生徒、先生が関西方面を旅する中、各地でダンス、和楽器、お笑いなどに出会いながら、旅行に抱いていた不安が少しずつ前向きな気持ちに変化していく様子を劇で表現しました。美術グループはバック絵、小道具づくり、スポットライトなどの役割を果たしました。関西方面の様々な魅力を取り入れ、演じながら生徒たちは見学旅行を疑似体験しました。3学期からは見学旅行事前学習が始まります。この劇のように、主体的に、考え、行動し、充実した見学旅行になるようにしていきたいと思えます。学年の振り返りでは、熱心に動画を見たり、楽しそうに話したりする生徒の姿から、2学年の集団として、個人として大きな成長を感じ、皆で発表の成功を喜ぶことができました。この経験を忘れず、学んだことを今後の学校生活に生かしてほしいと願っています。保護者の皆さま、応援、御支援、御協力ありがとうございました。



(文責: 鈴木奈都)

「届け!!この想い。」

現場実習が終わった11月。生徒は、学校祭の企画を語り始めました。芝居をやりたい。踊りたい。お笑い、動画、歌・・・ネットか何かで見たことのある「学校祭」。自分に重ね合わせてイメージしていたと思います。彼らが表現したかったことは、この3年間に仲間と学校祭や修学旅行など様々な行事の成功を築き上げてきたという証です。「絆」という言葉だけでは表現できない自分達3学年の強い「つながり」を最後の学校祭でどのように伝えるか。彼らは「合唱」という手段を選択しました。

日々の練習から本番まで、私たち教員は、彼らの合唱を胸が熱くなる思いで聴いていました。

歌が苦手な私は、彼らを羨ましく、そして誇らしく思いました。学校祭本番で彼らの歌声は、保護者の方々にはどのように届いたのでしょうか。



(文責: 宮崎裕也)

～学校祭～学校祭実行委員長より

みなさん、学校祭お疲れ様でした。楽しくステージ発表や学科企画ができましたか？

ステージ発表では、1年生、2年生、3年生、どれも素晴らしい発表でした。それぞれ違うお笑いや合唱、ダンス!どれも感動と笑いがありました。今年の学校祭も大盛り上がりでした。こんなに盛り上がったのは、生徒会や実行委員だけでなく、みんながここまでたくさん練習して頑張ってきたからだと思います。

学科企画では、学校祭当日までの期間に全学科の皆さんが協力してたくさんの製品や動画を作り、販売などの準備をしてきたと思います。その頑張りがあったから、製品がたくさん売れたと思います。

「創り出そう新しい伝説～輝く私たちらしい思い出の1ページを～」この学校祭テーマを学校祭だけで終わらせず、これからもたくさん創って楽しい学校生活を送っていきましょう。(3年5組 福祉サービス科 永瀬 迅)

～学校祭～文化情報部より

12月1日(金)、2日(土)に第6回学校祭が行われました。1日目は、生徒会執行部と学校祭実行委員が運営を担当し、オープニングと生徒有志発表を行いました。総勢21組が歌やダンス、コントなどを披露しとても盛り上がりました。執行部と実行委員はこのために、8月から活動を始めました。途中、現場実習などの学習活動もあり、忙しい中での活動でしたが、最後まで学校祭成功のために取り組みました。2日目は、各学年によるステージ発表と学科企画・販売が行われました。今年度も保護者と卒業生をみの限定公開となりましたが、たくさんの方に御来校いただき、盛況となりました。

学校祭開催にあたり、たくさんの御協力ありがとうございました。

(文責: 梶上 薫)

地域と共に歩む教育活動の具体化～令和5年度「あい circle」の取組～

コロナ禍で中止していた「あい circle」ですが、今年度は7月と11月の2回開催し、たくさんの方々に御協力いただきながら、大きな成果をあげることができました。

「あい circle」のコンセプトは、様々な人が必要とされながら、関わり合える場を作り、参加する人それぞれが「あい circle」の場を活用して、主体的に自己実現することです。

今年度の成果は次の4点です。1つ目は、たくさんの企業や事業所の方に出展していただいたことです。学校とつながりのある企業や、卒業生がお世話になっている事業所、地域の店舗等に参加していただくことができました。2つ目は、学校間の連携です。北海道教育大学札幌校と北海道医療大学の学生には、事前準備から運営業務に協力していただきました。7月には市立札幌豊明高等支援学校の生徒にも参加していただきました。3つ目は、地域のサークル団体等の参加です。吹奏楽やコーラスなど、地域で活動している方々の発表の場として活用していただくことができました。4つ目は、地域住民の参加です。7月は750名、11月は400名の方々に来場いただきました。本校の卒業生や保護者の方、地域の小中学生もたくさん参加していただきました。

「あい circle」の取組を通して、本校生徒にもたくさんの学びがありました。実施後のアンケートでは、「あい circle」の満足度は高く、普段の学習の成果を発揮できたという回答が多くありました。これだけの方が、本校「あい circle」の活動に賛同してくれて、その一員として参加することができたことで、生徒の心に響くものが大きかったと実感しています。今後も様々な人とのつながりを大切にしながら、「あい circle」の取組だけではなく様々な学習活動においても地域と共に歩む教育活動を推進していきたいと考えております。

(文責: 解良和人)



イラスト: 3年生徒

3学期始業式は1月19日(金)です。
また元気に皆さんに会える日を楽しみにしています。
時間を大切にして、有意義な冬休みをお過ごし下さい。



イラスト: 3年生徒